

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	らいとはうす山形			
○保護者評価実施期間	8年1月13日 ~ 8年1月30日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37名	(回答者数)	23名
○従業者評価実施期間	8年1月13日 ~ 8年1月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	9名
○事業者向け自己評価表作成日	2008年2月5日			

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・運動、食育、室内活動の三本柱で活動を組み立てている。 ※より強化・充実を図ることが期待されること	・運動は、体育館・事業所。体幹や手足の大きな筋肉を使う粗大運動(歩く、走る、ジャンプ、ボール投げ、バランス)、手と指先の協調性、細かい筋肉を使う微細運動(掴む、積む、鉛筆やハサミを使う等)を曜日に合わせながら組んでいる。	・体育館使用日数を増やすし、体を動かせる機会を増やす。 ・保護者の方が参加できる機会を設ける。 ・年に1回、親子で参加出来る行事を企画。
2	・週に1~2回、食育活動を取り入れている。	・食に対し「楽しい」気持ちを持てるよう取り組んでいる。 ・「嫌いなものを頑張って食べる」ではなく、苦手な物のも「自然に手が伸びる」ような雰囲気作り。 ・季節ごとのイベント、領土料理に触れる機会を作っている。 ・予定表に記載し、保護者の方にもわかるようにしている。	・調理道具を増やすし、メニューの幅を広げる。
3	・SSTの取り組み。	・面談の際、保護者の方々からあがった意見をまとめ、曜日や利用のお子様に合わせたプログラムを考え実施。 ・以前から活動の中で行っていたが、より活動内容が「いつ・何を・どんなふうに」が明確にわかるようインスタを活用して情報提供している。	・送迎時に、保護者の方と事業所での様子を伝え、ご家庭での様子を聞きながら情報共有し、保護者の方の要望を活動に取り入れていく。 ・指導員同士の情報共有や、SSTについての知識を深める機会を設ける。

	事業所の弱み（※）だと思われる事 ※事業所の課題や改善が必要だと思われる事	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・所有の体育館がない為、週2回お借りしている状況。 ・事業所が近隣の方々に迷惑をかける可能性があり、車通りも激しい為、事業所の周りでの遊びも制限されている。	・設立する場所が確保できない。	・使用できる体育館を探し、体を動かせる日を増やす。 ・公園が近い為、有効に活用する。 ・他事業所への協力を仰ぐ。
2			
3			

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名	らいとはうす山形		公表日 年月日 2026/1/13現在 37名利用			利用児童数 配布33名	回収数 23	
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	20	2	0	1	・体育館の利用や事業所も広く、のびのびと活動できている。・入所以来、子どもの増減や先生も含めて分からぬので。・体育館での活動はもちろん、事業所内の活動スペースが増えたので十分であると思う。	・嬉しいご意見ありがとうございます。・職員の増減については、送迎時やインスタグラム等で対応させて頂きます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	0	0	5	・多く、子ども達をよく見てくれている。・入所以来、子どもの増減や先生も含めて分からぬので。・利用している人数に対して、十分に配置されている。	・職員の増減については、送迎時やインスタグラム等で対応させて頂きます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	15	5	0	3	・事業所内は一度見学を行ったきりで、活動の様子は見せていただいたが、構造についてはよく確認していなかった。	・保護者の方が気軽に足を運べるよう、一斉メールなどでお知らせさせて頂きます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	23	0	0	0	・季節ごとに飾り付けもしてあり、楽しく過ごせる空間になっていると思う。	・嬉しいご意見ありがとうございます。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	23	0	0	0	・声の調整が難しいことに対して、お部屋に声の大きさ表掲示していただき、子どもが分かりやすいように支援してくださった。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後も、より良い支援が出来るようその子に合わせた対応をさせて頂きます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	22	1	0	0		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	23	0	0	0	・一人一人を毎回よく見てくれている。個別支援計画が細かく、嬉しい。・子どもの特性などを把握した上で、個別性のある支援計画になっていると思う。	・嬉しいご意見ありがとうございます。一人一人と向き合い、わかりやすいよう細かく支援計画の作成に努めて参ります。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	22	0	0	1	・それぞれの項目に対して具体的な支援内容が設定されている。	・嬉しいご意見ありがとうございます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	1	0	1	・計画に沿って十分な支援が行われていると思う。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	23	0	0	0	・日々、様々な活動に取り組んでいるから。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	7	2	1	13	・交流がある際は、SNSや事前にLINEなどで配信していただけるとありがたい。・学童のお子様が参加している（交流）インスタを拝見した。	・学童のお子さんとの交流は、インスタグラムにて載せておりますので、ぜひご覧ください。
保護者への	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23	0	0	0		
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	23	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	3	2	9	・交流がある際は、SNSや事前にLINEなどで配信していただけるとありがたい。・機会があれば希望する。・家族も参加できるような研修会があったら是非教えていただきたい。	・貴重なご意見ありがとうございます。研修会や、情報提供の機会につきましては、検討して参ります。実施が決定した際には、文書で配付させて頂きます。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができると思っていますか。	19	3	0	0	・とてもありがたい。共有できて力強い。・送迎の際などに情報を共有することができる出来ていると思う。	・嬉しいご意見ありがとうございます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	1	0	0	・半年に一度の面談の他に、悩みがあつた際に相談に乗っていただいた。	・今後も、送迎時やLINEで気軽にご相談して頂けるような雰囲気作りや仕組みを継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	23	0	0	0	・困り事など、話をよく聞いてもらっている。・小さなことでも褒めていただけて、私も子どももすごく嬉しい気持ちになる。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後も、保護者の方々と密に連絡を取り合い、安心して利用できる事業所にしていきます。

説明等	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	1	6	10	・兄弟も参加できるイベントがあるといいと思う。・もし機会があれば、LINEや文書などで知らせさせていただくと良いと思う。・通所日数が少ないので参加できていないのか分からない。・父母会のアンケート配布があった。	
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	1	0	1	・信頼している。いつもありがとうございます。・どんなことでもすぐに対応していただき、本当にありがたい。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後も、安心してご利用して頂けるよう努めて参ります。
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	22	1	0	0		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	22	1	0	0	・毎回家族で楽しみに見ている。・SNSで活動の様子が確認でき、子どもの楽しそうな様子がうかがえて嬉しい。	・毎回見て頂きありがとうございます。今後も、活動の様子はInstagramを是非ご覧ください。
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	21	1	0	1		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	22	0	0	1	・マニュアルに関する書面が配布されており、説明もあった。	・契約時に、説明しあげました。
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	20	1	0	2	・避難訓練が行われている。	・避難訓練実施に関しましては年に2回行い、Instagramで掲載しております。
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	23	0	0	0	・大きな怪我などなく、安全に配慮した上で活動が行われていると思う。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後も、安心してご利用して頂けるよう努めて参ります。
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	22	0	0	1	・よく怪我をするので、毎回説明して頂きありがとうございます。・まだケガ等が無いのでわからない。・面談の際に説明があった。	・事故等（怪我）で、保護者の方々にはご心配をおかけし申し訳ございません。起きました際には、丁寧にご説明させて頂きます。
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	23	0	0	0	・「行きたくない」や「〇〇君が嫌…」などの話を一切言わない。皆優しいのだろうと安心している。・安心して通所している。・最初は不安な様子もあったが徐々に慣れてきて、安心して通所することが出来ている。子どもは活動も職員の皆さんのこととも大好き。	・「安心して」「好き」のお言葉、非常に嬉しいです。最初はだれもが不安でいっぱいだと思います。早く環境に慣れ、素の自分で過ごしてもらえるよう雰囲気作りを行い、楽しく安心して通っていただけるよう努めて参ります。保護者の方々の温かいお言葉感謝いたします。
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	22	1	0	0	・とても楽しく、毎日行きたい！と話をしている。・いつも楽しいと言っている。・気分による。・事業所での活動を特に楽しみにしている様だ。・毎日楽しく通所させて頂いている。・「今日はどんな活動をするの？」「はやくらいはどうすに行きたい！」といつも楽しみにしている。	・体育館、事業所、食育と様々な内容で活動を提供しています。利用予定表に、活動場所や内容を記載し、不安をなくし見通しを持って取り組めるような工夫もしています。毎日、楽しい活動が出来るよう新しい意見を取り入れながら「毎日行きたい」「早く行きたい」と思って頂けるよう取り組んでいます。
	29 事業所の支援に満足していますか。	23	0	0	0	・大満足。ご縁があり、とても嬉しい。これからもよろしくお願いします。・とても満足している。・色々な活動を通して身体の動かし方、お友達との関わり方を少しずつ学ぶことが出来ているかなと思う。らいとはうすに通わせていただけで、本当によかったです。いつもありがとうございます。	・たくさんの嬉しいご意見、ありがとうございます。保護者の皆様、そしてお子様とのご縁をいただき、心より嬉しい思います。様々な活動を通して、体の動かし方、人との関り方、社会性を身に付けてほしいと考えております。よりよい事業所になるよう、指導員の気持ちも常に更新しながら子供達と一緒に成長していくことを、今後もお願いします。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		らいとはうす山形				公表日	年 月 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0			
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	・バリアフリー化ではないが、空間は分かれ、分かりやすく構造化されている。・バリアフリー化が難しい。	・賃貸の為、改善は難しい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	9			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0			
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	・活動は大きく3つに分けてあるが、内容は継続するもの、変化するものと分けながら固定化しないように取り組んでいる。	・体育館、食育、事業所の3つに分かれている。固定化する活動、固定化しない活動を分けて取る組んでいる。	

供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	9	0		
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9	0		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	7		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	9	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	9	0	・研修を受けている。	・部会への参加をしている。児発管だけではなく児童指導員や保育士が参加出来るよう声掛けていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	9	0	・公園等の活動時に、近隣の小学校児童が参加することがある。 ・学童等の交流はないが、学童の児童が活動に参加することがある。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	9	0		
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	・送迎の際などに、その都度情報を共有し合っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	0	・必要に応じて、面談時に実施している。 ・研修会等の情報提供している。	・改めて実施する場合は文書にてお知らせしていく。
~	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	9	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0		

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	9	・父母会のアンケートを配布している。・保護者会についてのアンケートを実施。現実的に会の活動に参加することが難しいとの意見多数により、保護者会は設置していない。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	9		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0		
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	・医師の指示が必要な児童はないが、詳しくアセスメントしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9	0		